

8 番	高島 淳 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>1. 本市の防災力について</p> <p>【質問趣旨】</p> <p>近年日本国内では多くの大規模災害が発生し、地域防災の重要性が指摘されている。もし、南海トラフ地震が起これば、本市においては震度6弱を計測し、山崩れ、土砂災害、道路の寸断、河川の氾濫などが懸念されている。しかしながら、本市の課題としては、施設の老朽化、地域住民との協働体制の強化、高齢者対応、多文化対応など多岐に亘り、現在の状況に合った災害対策を整えることが急務である。また、名古屋市防災指令センターの共同運用により、防災の広域化が始まり、消防体制の強化がなされた。しかしながら、ハード面ではまだまだ現状に追いついていないと考えるので、本市の見解を伺う。</p>	<p>(1) 本市の災害対策の現状について</p>	<p>① 本市は愛知県北東部に位置し、丘陵地や山間部が多く、土砂災害や地震のリスクが存在する。特に、集中豪雨や地震による土砂災害の危険性が指摘されており、地域の地形特性を踏まえた防災対策が求められていると考える。現在における防災対策についてどのような方針を持ってあたっているのか伺う。</p> <p>② 本市の山間部丘陵部においては、一本道のところもある。もし土砂崩れが起これば道は寸断され、孤立化してしまう可能性がある。もしもの時の対策は検討されているのか伺う。</p> <p>③ 山間部から平地、農地、河川など本市にはさまざまな地形があり、それぞれの地域特性に合った防災対策が求められているが、それぞれの地域に住まう住民の皆さんと共有して防災にあたっているのか伺う。</p> <p>④ 大災害が起これば関係各機関との連携が必須と考える。警察や自衛隊などへの救助要請、ガス、電気、通信などのライフライン関連業者との連携について伺う。</p>

備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。

2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。

3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

8 番	高島 淳 議員	
質問タイトル（大項目）	質問項目（中項目）	具体的質問内容（小項目）
	(2) 地区防災計画について	<p>① 本市では、地域住民が主体となって防災活動を計画・実施する「地区防災計画」の策定を推進している。この取り組みは、平成30年度から消防本部が支援し、自治会単位での計画策定を進めているが、現在はどうのような状況か伺う。</p> <p>② 地区防災計画についてどのような課題があるのか。併せて、その対策はどのようにしているのか伺う。</p> <p>③ 高齢化の進行や地域コミュニティの希薄化により、防災活動への参加者の確保や情報共有の難しさが課題となっていると考える。対応としては若年層やアクティブシニアの参加促進、デジタル技術を活用した情報伝達の強化などが挙げられると思うが、本市としてはどうか伺う。</p> <p>④ 地域に住まう外国人への対応が必要となるが、言語、習慣、通信手段、防災講座・防災訓練、地域とのつながりや避難した場合の宗教的配慮などについてはどうか伺う。</p>

備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

8 番	高島 淳 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	(3) 消防本署について	<p>① 本市苗場町にある消防本署は昭和 47 年に建設され、老朽化は顕著で、修繕をして使用している。台風などの強い風雨にさらされると、天井や壁からの漏水が散見されるような状況である。このことについて見解を伺う。</p> <p>② 昭和 47 年当時の職員数は 43 名で、令和 7 年については 78 名と増しており、本署のキャパシティー不足を招いている。このことを改善するための対策について伺う。</p> <p>③ これまでの 50 年以上の間に、消防、救助、救急機器などが高度化、大型化している。現在の本署では十分に機能を発揮できないと考えられるが、どのようにしているのか伺う。</p> <p>④ 現在のように古い建物での勤務は、安全性・快適性の面、また、女性隊員の配慮などで問題が多い（雨漏り、空調不備、設備の老朽化など）と思われる。このような状況では職員のモチベーションの低下や離職リスクにもつながると考えられるがこのことをどのように考え、対応しているのか伺う。</p> <p>⑤ 消防本署は「地域防災の最後の砦」であり、老朽化によって失われるのは物理的な建物だけではなく、「機能・信頼・統制力」そのものである。建て替えや更新についての考えを伺う。</p>

備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS 明朝体、12 ポイントで記載する。

8 番	高島 淳 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	(4) 市役所隣の消防用地について	<p>① 市役所隣には消防新庁舎を建設するために購入整備した土地がある。当初はこの場所に消防新庁舎を建設し活用していく予定であったが、現在はどうのような取り扱いなのか伺う。</p> <p>② 市役所隣に消防新庁舎を建設することは、災害時に市の災害対策本部と消防本部の連携が迅速になり、情報共有・意思決定・行動指示がスムーズに行えると考えるが、どのような見解なのか伺う。</p> <p>③ 市役所隣に消防新庁舎が建設されれば、平時においても庁内での打ち合わせ、会議室などの共用など、市役所と消防署の連携、協働が促進される。また、市民においても、防災・防火・救急などの窓口が市役所と併設されていることでわかりやすく、「ここに消防署がある」という安心感が生まれると考えるが、効率の良い消防署の活用について伺う。</p> <p>④ 市役所隣に消防新庁舎が建設されれば、災害時などの防災拠点となり、市役所との連携が促進され、全市域への出動が迅速になる（火災出動の場合では現着時間が1分程度短縮されると聞いている）と思うが、どのように考えるのか伺う。</p> <p>⑤ 市役所隣に消防新庁舎が併設されることにより、高齢者福祉、防災教育、多文化対応、避難所整備などの複合的課題に連携して取り組むことができ、地域住民や関係団体との会合・連携も一本化しやすいなどのメリットがあると思われるが、見解を伺う。</p>

備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

8 番	高島 淳 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	(5) 本市の防災力について	<p>⑥ 市役所隣への消防新庁舎の建設は、「災害対応の中核機能を一か所に集約できる」という点で非常に合理的であり、都市の防災力強化に大きく寄与すると考える。特に迅速な意思決定、日常的な連携強化、住民サービスの向上という観点で効果的である。土地やインフラの整備状況を踏まえた上での配置であり、本市の防災力の向上に大きく寄与され、早期に実現していくべきだと考えるが、見解を伺う。</p> <p>⑦ 令和6年3月に制定された「瀬戸市消防本部 消防新庁舎整備基本構想・基本計画」によると、概算事業費で約25億円程度と見込まれているが、近年の物価上昇によりさらに事業費は高騰するものと予測される。また、南海トラフ地震の危険性が高まっている中、早急な事業着手が合理的判断と考えられるが、本市の見解を伺う。</p> <p>⑧ これまでの質問から、さまざまな課題をクリアして、本市の防災力を向上させていくことは市民の安全安心を担保できるものとする。また、今後本市を訪れる方や、定住を考える方に対しても大きなアドバンテージになるとも考えられ、本市全体の魅力の向上になるとも考えられる。シティプロモーションの観点から消防署の更新を含め本市の防災力の向上についてどのような考えか伺う。</p>

備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。